



第1号議案

平成30年度 事業報告

1. 社会福祉法人 童心会（本部）

1) 童心会の経営理念

童心会は今、社会資本の一つとして「地域の子ども家庭支援」の大切な役割を担っている。そこで、私たちは郷土に受け継がれてきた「気候、風土、文化、歴史、宗教」を見つめながら、この 21 世紀の社会の変化を先見し“生活や福祉”をデザインし、時代の変化に対応しうる理念「尽・還・実・育」を持つ法人として「利用者の最善の利益の実現」に向けて、公的役割を遂行しなければならない。

2) 童心会の事業目的(全保育所 共通)

児童福祉法に基づき何らかの理由で、保育を必要とする乳児・幼児を対象に保育することを目的とした児童福祉施設である。

子どもたちの心は“人間性豊かなより多くの人たち”との毎日の生活の中で「ふれあいと見守り、抱きしめ言葉」を通して「思いやりと生きる力」が育てられるものであり、保育所は子どもたちが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、時代の変化に対応した保育を創造し、実践する必要がある。よって、子どもたち一人ひとりが、人格を持った人間としてお互いが認められ“生まれてから死を迎えられるまでの一生”を人間教育の場として捉え「人間として如何に生きるべきか」を学ぶための原体験を創ることを目的としている。

～ 利用者の最善の利益の実現 ～

- 1.愛された育ちの保障（保育ケア・ワーク）
- 2.保護者や地域の子ども家庭支援（ファミリーソーシャル・ワーク）
- 3.保健・福祉・医療・教育との協働（保育ソーシャル・ワーク）
- 4.保育所から始める地域コミュニティ創り（コミュニティケア・ワーク）
- 5.新しい子育て文化の創造（未来の親づくり）

3) 童心会の H30 年度 活動内容

① 理事長講演及び執筆活動

主に、理事長自ら講演・講師を実施

- i 講演：全国社会福祉協議会主催
「第 62 回 全国保育研究大会フリー発表」

テーマ：OECD の ECEC から

(社福) 童心会の ECEC (0 歳からの人間教育) を考える
(Early Childhood Education and Care)

- ii 講師 : 聖徳大学(千葉県松戸市)
年 1 回実施
当学生を対象に特別講師として「特別講演」実施

② 法人体制の強化(報告会及び研修会)

- i 平成 30 年度においても、組織強化と人材育成の一貫としてテーマを設定し各部会への研修を継続的に強化してきた。
園長会、主任会、リーダー会、新人会、調理会、子育て支援センター会、保育所保健部連絡会、年齢別クラス研修と定期的且つ課題を持ちながら理事長主導(本部企画)で実施した。

- ii 理事長職の集中体制

平成 30 年度も、理事長である中山勲が各園及び各部会に自ら参加し上述の組織強化と人材育成を強化させた。法人の「保育理念を科学」する為、継続的に理事長の役割を強化推進する土台を確立させた。

研修名	年間講義数
各保育園(全職員対象)	90 回
園長会	12 回
主任会	6 回
献立会	12 回
保育所保健部会議	3 回
リーダー研修 (朝会 L、音楽リズム L 等)	10 回
4、5 歳児体操研修	2 回
合計	135 回開催

2. 柏さかさい保育園

1) 事業内容(KS)

- ① 保育所の運営、 ②地域子育て支援拠点事業、 ③一時預かり事業他、保育事業として延長保育促進事業を実施する。

- 開園して10年となるなかで、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育ててきました。 幼児組は日々の活動に課題を見つけチャレンジする意欲が育ち、1、2歳児各24名が 30 分間朝会に集中して参加し幼児組の様に歌に合わせて体を揺らし指揮者の真似をしたりとミラーニューロンによる意欲が育っています。また、一周320m のマラソンコースを走り切ったりと、子供たちが童心会の保育理念のもとしっかりと成長している結果が見られた。 また、2歳児はリーダー活動の一つとして乳児朝会で進行をするなど、人の前で話す体験を重ね非認知能力 を育て、4、5歳児は行事に対して一つ一つ子供たちが話し合い、認め合いながら自分たちで作り上げ多くの「がんばること、つづけること、がまんすること」と「やれば出来る！」事を実体験した。法人職員による音楽リズム、絵画、文字、課外活動の経験により、体験を共有することで心を育て、知識を獲得することで自信をもち就学に繋げることが出来た。

- お泊り保育では5歳児がつくば市にあるふれ合いの里へ行き 筑波山登山を体験し、多くの新しい発見と感動、チーム力、達成感を得ることができた。4歳児は初めての園外でのお泊り保育となったが、どちらも「自分でできた、みんなとできた、人のために出来た」を経験し、成功体験と共に情緒の成長も見られた。

- 近隣の老人福祉施設との異年齢交流、公・私立保育園とのドッジボール・リレー大会交流、柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園、ECEC保育園とのマラソン交流、5歳児の逆井小学校との交流、様々な人との交流を通し、他者理解認め合う気持ちを養い、社会を知ることが出来た。

- 特別な支援が必要とされるお子さんや集団での生活が苦手なお子さんに対して、地域保健福祉課、ウェルネス発達支援センター、きりとも学園などの行政と連携を取り適切な支援を行い小学校との接続もスムーズに行う事が出来た。

- 2・3・4・5歳児は公園里親ボランティアで公園のトイレ掃除や地域の清掃

活動をやり、人のためになる喜びを学んだ。

- 子育て支援まことちゃんの利用者も口コミで増え、予約が必要なものはすぐにいっぱいになっている。その際に育児に対する悩み等を聞いたりして、地域親として育児支援を行った。
- 保育士養成校9校 14名、慈恵柏看護専門学校6名の実習を受入れ、他、近隣の小学校の街探検、中学校2校の職場体験、安孫子東高等学校のインターシップの受入れを実施。

2) 児童の在籍状況 (KS)

区分	月初日在籍児童数				
	乳児	1歳～2歳児	3歳児	4歳以上児	計
4月	20	49	24	46	139
5月	22	49	24	46	141
6月	22	49	24	46	141
7月	24	49	24	46	143
8月	24	49	24	46	143
9月	24	49	24	45	142
10月	24	49	24	45	142
11月	24	49	24	45	142
12月	24	49	24	45	142
1月	24	49	24	45	142
2月	24	49	24	45	142
3月	24	49	24	45	142
計	280	588	288	545	1,701

3) 保育園の保守管理 (KS)

当園は、定期的な清掃及び修繕点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KS)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	時間外(朝と夕方)訓練 各1回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練 防犯訓練
引渡し訓練(地震)	年1回	
消火訓練	年1回	職員参加
防火装置の検査	年2回	消防署へ連絡
その他	年1回	119番通報訓練 職員 AED,心肺蘇生講習 職員

5) 保健衛生(KS)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)蟻虫卵検査、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法など職員研修を実施。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KS)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。その他に保育園のインターシップや地域交流も積極的に実施した。

姉妹園4園との交流は、他者を知る良い刺激となった。また、公立保育所(土南部保育園、南高柳保育園)との年中児及び年長児による交流をすることで小学校に行ってからの共有する思い出をつくることが出来た。年長児は逆井小学校1年生との交流も行い就学に期待を持つきっかけ作りになった。

実施月	行事名
4月	・進級式・入園式・春まつり
5月	・バス遠足・こどもの日のつどい・蟻虫検査 ・4, 5歳児 尿検査・歯科検診・公園里親ボランティア
6月	・4, 5歳児 スポーツテスト・個人面談・内科検査 ・さくら組 お泊り保育・公園里親ボランティア
7月	・視力検査(5歳児)・七夕の集い・ひまわり組 お泊り保育 ・プール開き
8月	・5歳児お年寄り交流(柏あんしん館)・夏まつり
9月	・視力検査(4歳児)・引渡し訓練 ・プール納め・公園里親ボランティア ・たんぽぽ組 お泊り保育 ・ふれあいパーティー
10月	・親子運動会・交通安全教室・秋の鑑賞会 ・ハロウィンクッキング・逆井小学校街発見
11月	・10km ウォーク 5歳児・5kmウォーク 4歳児 ・バス遠足(1歳児～3歳児)・南部中学校 職場体験 ・カスミ食育体験・さくら組 逆井小学校1年生との交流 ・安孫子東高等学校 インターシップ ・土南部小学校街探検
12月	・クリスマス生活発表会・内科健診
1月	・マラソン記録会(1回目)
2月	・マラソン記録会(2回目) ・冬まつり ・柏中央保育園、牛久みらい保育園、柏しんとみ保育園柏EC EC保育園交流会(4歳～5歳児 マラソン交流会) ・節分豆まき集会 ・視力検査 3歳児 ・土南部保育園、高柳西保育園交流会 4, 5歳児 (リレー、ドッジボール) ・公園里親ボランティア 5歳児・卒園遠足
3月	・ひなまつり集会・おにいさんおねえさんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会、身体測定、ボランティア活動、歩く会は毎月実施

※ 実習生は随時受入(年間10名の受入予定)

本年度は 慈恵柏看護学校 母性看護学実習 7名

道灌山学園保育福祉専門学校 1名
 千葉女子専門学校 1名
 東京家政大学 2名、東京家政短期大学 1名
 千葉経済短期大学 1名
 東洋大学 2名、東京教育専門学校 1名
 江戸川大学総合福祉専門学校 1名
 東京未来大学 1名

7) 職員の充足状況(KS)

① 定員120名 弾力運営 144名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	20名	20名	20名	20名	20名	20名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置 対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	22名	3名	26名

② 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	短時間 保育士	看護師	事務員
配置	1名	1名	26名	5名	1名	1名
区分	みなし	サポーター	栄養士	調理員	全職員47名	
配置	4名	4名	1名	3名		

※ 理事長(スーパーバイザー)は別途カウントなし

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士3名を雇用

3. 柏中央保育園

1) 事業内容(KC)

① 保育所運営、②地域子育て支援拠点事業、③一時預かり事業
他、保育事業として延長保育促進事業も実施する。

駅近ということもあり、都内で就労する保護者も多く、19時以降延長保育を利用する園児は平均30名になる。

- ・ 特別な支援が必要な子への対応について、平成31年3月末まで6名(多動傾向、自閉症傾向、軽度の遅れ傾向、ダウン症)に対して、それぞれ補助職員が入り保育を行う。共に暮らすことにより、相手への思いやりの心も育まれ微笑ましい場面が多く見られる。
- ・ 里親活動
園外での活動が殆どのため、使用している一部の公園の里親活動を行う。「あたりまえ」ではなく、「ありがとう」の感謝の気持ちを大事に出来る子に育つよう公園の清掃活動を定期的に行う。
- ・ 基本的な生活習慣を大事に衣服の着脱、トイレトレーニング、食事のお約束、フォークや箸の持ち方、人との関わりなど、生きるために必要なことを、保育園という小さな社会の中で学び、たくさんの刺激ある暮らしの中で、『ひとりでもできる みんなでもできる 人のためにできる』ことを増やしていく。
- ・ 本園は、社会資源を活用し園外活動に力を入れている。散歩、買い物、見学など、目的をもって充実した時間を持てるよう計画的に行っている。園バスを利用しての活動もあり、いろいろな経験体験の中で、『イキイキ・ワクワク・ドキドキ』を感じられるような時間が持てるよう推進している。
- ・ 暮らしの中で、たくさんのスペシャリストに協力していただきながらたくさんの刺激ある活動を取り入れている。
【わくわくアート】【わくわくタイム】【幼児体育】【音楽リズム遊び】専門の先生にご指導いただくことにより職員の学びの場にもなり良い刺激になっている。

2) 児童の在籍状況(KC)

区分	月初日在籍児童数				
	乳 児	1歳～2歳児	3歳児	4歳以上児	計
4月	11	37	19	38	105
5月	12	37	19	38	106
6月	12	37	19	39	107
7月	12	37	19	39	107
8月	12	37	18	39	106
9月	12	37	18	39	106
10月	12	37	18	39	106
11月	12	37	18	39	106
12月	12	37	18	39	106
1月	12	37	19	39	107
2月	12	37	19	39	107
3月	12	37	19	39	107
計	143	444	223	466	1,276

3) 保育園の保守管理(KC)

当園では、毎日の掃除及び定期的点検実施

玩具に破損部分がないか定期的に確認すると共に、乳児クラスの玩具については、毎日、電解水を使用し衛生的環境が保てるように心掛ける

幼児クラスの玩具についても電解水を利用し定期的に清掃すると共に毎日、園児が自分で作った雑巾を使用し水拭き掃除を行う

4) 消防・地震計画(KC)

地震火災が起きたことを想定しての避難訓練、引き渡し訓練、夜間訓練は勿論のこと、避難場所の確認、避難靴、非常食など、職員、そして保護者との共通理解できるよう実施した。8月には、同ビルのKDDIと一緒に合同避難訓練を行う。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	夜間(夕方)訓練1回実施
引き渡し訓練	年1回	保護者への周知
消火訓練	年1回	職員参加
不審者訓練	年1回	
防火装置の検査	年2回	消防署へ報告(義務年1回)

その他	年1回	119番通報訓練
-----	-----	----------

5) 保健衛生(KC)

病気、怪我、感染症には細心の注意を払い、感染症が流行した時には、病名を掲示板で周知すると共に、病気に負けない強い体づくりを心掛けて頂けるよう、全保護者へ食事、睡眠の重要性について再確認のため「ママ連メール」等で周知した。

このように、感染が拡大しないよう注意を払うことは勿論、園児たちの健康管理として年2回の内科検診、年1回の歯科検診を実施した。その他にも、尿検査を実施、職員に関しては、月1回の腸内細菌検査を実施している。看護師がクラスを巡回しての病気等の相談、子育て支援での育児相談会、怪我をした子の対応など、保育士にとって安心できる存在となる。

10月から3月までは感染性胃腸炎、インフルエンザが流行する時期のため、室内の消毒も塩素系の殺菌剤を使用し行う。設置当初から各部屋に加湿器を設置し、特に感染症が流行する冬時期には、掃除、消毒等、清潔に維持するよう心掛けた。看護師による衛生面での指導をリーダー会議で定期的に行う。

6) 各種幼児の実施状況(KC)

実施月	行事名
4月	入園進級式・春まつり・内科検診・ピクニック
5月	子どもの日の集い・尿検査・バス遠足(2歳児から5歳児)・5歳児10キロウォーク
6月	個人面談・5歳児お泊り保育(筑波山登山)
7月	七夕の集い・プール開き・夏まつり・防火教室 4歳児お泊り保育(猿島少年自然の家)
8月	夏まつり・KDDIとの合同避難訓練
9月	引き渡し訓練・視力検査(4・5歳児)・おじいちゃんおばあちゃんふれあいパーティー
10月	ボランティア活動・親子運動会
11月	交通安全教室・秋まつり(保護者会主催)・第1回マラソン記録会
12月	クリスマス生活発表会・クッキング・内科検診・もちつき
1月	第2回マラソン記録会・交通安全指導
2月	節分豆まきの会・バレンタインクッキング・童心会マラソン交流会・視力検査(3歳児)・冬まつり
3月	卒園遠足・ひなまつりの会・ありがとうの会・卒園式・入園説明

	会
--	---

※誕生会、身体測定は毎月実施

7) 職員の充足状況(KC)

① 定員90名 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	10名	16名	16名	16名	16名	16名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

※ 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	18名	2名	21名

③ 現員(平成31年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	みなし	サポーター
配置	1名	1名	23名	2名	2名
区分	調理員	事務員 (保育士兼務)			全職員 32名
配置	3名	(1名)			

※ 栄養士は柏 ECEC 保育園と兼務

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士7名を雇用

4. 牛久みらい保育園

1) 事業内容(UM)

牛久みらい保育園は、平成25年4月1日にひたち野うしく駅西口から徒歩15分のところに開園し、下記の3事業を柱に運営している。

① 保育所運営、② 地域子育て支援拠点事業、③ 一時預かり事業

その他、保育事業として、病児保育事業(体調不良児対応型、病後児保育)延長保育促進事業も実施する。

また、定員の弾力化により園児の追加受け入れを行い、牛久市の待機児童の解消への貢献および、委託費収入の増へつながった。

- 牛久市は、行政の横の連携がとれており、保育課にも大変協力いただいている。市の公用バス(無料)で茨城大学への農業体験や卒園遠足など園外活動に出かけることができた。また、保幼小の連携会議、小学校の行事(給食試食会、運動会)への参加、気になる子のケース指導のための巡回相談(年5回)、交通安全教室(毎月実施)、保健センターや家庭児童相談室との情報の共有等、市の各機関と連携をとりつつ保育を進めた。
- 茨城大学農学部の広大な農園で五感いっぱい刺激を受けての農業体験、田植え、リンゴの花観察、梨狩り、ジャガイモ掘り、さつまいも掘り、人参掘り、パン作りなど貴重な体験をさせていただいた。茨城大学 COC 地域人材育成プロジェクト事業にも協力し文部科学省「地(知)の拠点整備事業」としても採択されている。また、園児の保護者にも呼び掛けて休日に親子で農業体験に参加できるプログラムも実施して、保護者にも好評いただいた。
- 子育て支援センターとしおちゃんの活動は、食事体験会、親子製作に加え、看護師による育児講座、音楽リズム遊びなど各種講座を実施。また、おしゃべり会や、ママの手作り製作など保育園に来たママたちがリフレッシュできるような企画も実施、看護師、栄養士が育児相談を受けたり、園児と園庭で一緒に遊んだりするなど、地域の保護者とのつながりを深めながら地域の子育て仲間の支援を行った。
- 病後児保育事業については、昨年に引き続き、市役所保健センター利用者への事業案内を積極的に行い、新規登録119名、累計では728名となった。また利用人数は53名であった。今後、保護者支援のため、より利用しやすい事業を目指し保育課及び医師会との連携をとりながら進めていく。
- 保護者会『みらいファミリー会』の取り組み
夏まつりへの出店、絵本の貸し出し文庫、保護者のお仕事紹介、おそうじ会、

クリスマス生活発表会での合唱、フォトコンテストと積極的に活動が行われた。「パパの力仕事プラン」として、園庭、駐車場の整備を行ったところパパ同士の交流を図ることができ、次年度へつながる活動になった。今後、より連携を取りながら童心会の目指す“村づくり”をすすめていく。

2) 児童の在籍状況(UM)

区分 月	月初日在籍児童数				
	乳児	1歳～2歳児	3歳児	4歳児以上	計
4月	7	32	16	35	90
5月	7	33	17	35	92
6月	7	33	17	35	92
7月	7	33	17	35	92
8月	9	33	17	35	94
9月	10	33	17	35	95
10月	10	33	17	35	95
11月	10	33	17	35	95
12月	10	33	17	35	95
1月	10	33	17	35	95
2月	10	33	17	35	95
3月	10	33	17	35	95
計	107	395	203	420	1125

3) 保育園の保守管理(UM)

当園では毎月「清掃強化日」を設け、日頃の清掃で行き届かない箇所の清掃を実施している。また保育室では、病気・感染症の予防のためにマニュアルに基づき室内の消毒及び玩具の定期的な消毒を徹底している。また、市役所より放射線量の測定に来ていただき、測定結果を園の掲示板にて保護者へ通知をしている。

4) 消防・地震計画(UM)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月 1 回	地震・火災・竜巻・夜間対応・ 抜き打ち訓練含む
消火訓練実習	年 1 回	職員参加
消防機材の点検	年 2 回	消防署へ連絡
その他	年 4 回	119 番通報訓練 職員

5) 保健衛生(UM)

園児： 嘱託内科医による内科健診(年 2 回)、嘱託歯科医による歯科健診(年 2 回)及び尿検査を実施。また看護師による歯磨き・手洗いなどの保健指導、命の大切さを学ぶマタニティ体験の実施。

職員： 健康診断(年 1 回)、腸内細菌検査(毎月)を実施、また看護師による感染症対策、救急処置方法などについて研修の実施。

保護者： ほけんだよりの発行(毎月)、エントランスに設けた「ほけんコーナー」にて保育園(市内近隣)の感染症の状況などの掲示を行った。

6) 各種行事の実施状況(UM)

実施月	行事名
4 月	・入園式 ・茨大リンゴの花観察(4・5 歳児) ・こどもの日のつどい
5 月	・春まつり(保育参観・懇談会) ・田植え体験(5 歳児) ・春のバス遠足
6 月	・パパ保育体験 ・保護者個人面談 ・歯磨き指導 ・ひたち野うしく小学校 2 年生 町探検で来園(保幼小連携事業) ・内科健診 ・歯科健診 ・4・5 歳児お泊り保育(あすなろの里にて)
7 月	・プール開き ・カスミ食育教室 ・七夕のつどい ・食育指導(牛久市) ・ジャガイモ掘り体験(4・5 歳児) ・一般検査(書類)
8 月	・夏まつり(ひたち野ふれあいまつり) ・梨狩り体験(4・5 歳児) ・プール納め
9 月	・3 歳児お泊り保育(本園にて)・音楽鑑賞会 ・おじいちゃんおばあちゃんふれあいの会 ・介護老人保健施設「常総の郷」訪問
10 月	・親子運動会 ・秋まつり(お店屋さんごっこ) ・公開保育
11 月	・ひたち野うしく小給食試食会(保幼小連携事業) ・筑波山登山(5 歳児) ・茨大人参掘り体験 ・秋のバス遠足 ・マラソン記録会①
12 月	・クリスマス生活発表会 ・もちつき

1月	・内科健診 ・童心会マラソン交流会(4歳児)
2月	・歯科健診 ・冬まつり ・節分豆まき ・茨大パンづくり体験(5歳児) ・童心会マラソン交流会(5歳児) ・マラソン記録会② ・新年度入園説明会
3月	・ひなまつりの会 ・卒園遠足 ・入園説明会 ・さくら組さんありがとうの会 ・卒園式

※ 誕生会、映画会(幼児・乳児)、うたごえ集会、身体測定、交通安全教室は毎月実施

※ 5歳児は高間先生による文字の書き方、絵画指導、力公先生による園外活動を定期的実施

※ 実習生受け入れ(年間 5名のうち1名の学生を採用しました)
江戸川学園おおたかの森専門学校 2名
東京家政大学 1名、東洋大学 2名

7) 職員の充足状況(UM)

① 定員 90名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	15名	15名	15名	15名	15名	15名	90名

② 職員の配置基準とその配置

※ 職員配置基準(園児:職員)

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

◇ 国の示す職員配置基準

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	11名	2名	14名

※上記配置基準は特別保育事業の加配人員は除く

③ 現員(平成31年3月1日現在)

区分	園長	主任 保育士	保育士	看護師	栄養士
配置	1名	1名	19名	3名 (うち1名本部より)	1名
区分	調理員	保育補助	用務員	事務員	全職員 30名
配置	2名	1名	1名	1名	

5. 柏しんとみ保育園

1) 事業内容(KT)

柏しんとみ保育園は、平成27年4月1日より開園し4年が過ぎました。流山市に隣接され他市からの園見学に来られる保護者も多く来園されます。

事業は2事業を柱に運営している。

① 保育所の運営、② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。なお、地域子育て支援拠点事業は隣接している為市からは不認可だが、園庭開放など近隣の子育て仲間とのコミュニケーションを図る為行っています。長期戦略から独自に実施している。

◇ 保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つめ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てています。
- ・ 昨年同様2週に1回、外部委託の専門員による運動遊び体操指導活動
- ・ 昨年より柏中央保育園の専門的先生による、音楽リズム(リトミック)を取り入れ、音楽リズムを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。又5歳児対象に楽器に触れ、音楽指導を行う。
体操指導も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする(4, 5歳児)。
- ・ 野菜を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さ感謝の気持ちを学んでいます。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑に入れる体験と大根の収穫経験は、その後お家で食べる大根はより美味しく、保護者にも好評です。ご迷惑にならぬよう続けていきたい食育体験です。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを知る。日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事など歩く体力も意識して行っている。

◇ 地域貢献

- ・ 『夏まつり』 地域へ発信し地域参加を呼びかけ地域交流も深める。
- ・ 『地域交流会や子育て支援』独自に活動を行い、地域密着型を目指す活動及び子育ての不安を喜びに変えられるような場所になればと園内見学、園庭開放を行い、園児との関わりの中から沢山の発見とお互いの学びの場となるようにと考え努めるよう心掛けています。
- ・ 『公園里親活動』3, 4, 5歳児が園周辺の清掃と笹原第4公園の清掃活

動を行い地域へ対するボランティア活動を行った。

- ・ 小学校接続を目的とした、幼保小連携及び小学校との交流(子ども、職員)を積極的に実施しました。

◇ 保護者との共同

- ・ 保護者会設立に向け、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。

2) 児童の在籍状況(KT)

区分	月 初 日 在 籍 児 童 数				
	乳 児	1 歳～2 歳児	3 歳児	4 歳以上児	計
4 月	7	38	19	37	101
5 月	9	38	18	36	101
6 月	11	38	18	36	103
7 月	11	39	19	36	103
8 月	13	39	19	36	106
9 月	13	39	19	36	106
10 月	13	39	19	36	106
11 月	13	39	19	36	106
12 月	13	39	19	36	106
1 月	13	39	19	36	106
2 月	13	39	19	36	106
3 月	13	39	19	34	105
計	142	465	226	432	1264

3) 保育園の保守管理(KT)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

※毎月第1木曜日 PM2時より職員による、安全確認と全体清掃日を実施

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(KT)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため毎月1回の避難訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	時間外(朝と夕方)訓練各1回実施 午睡時の訓練 竜巻発生時の訓練 抜き打ち訓練
防犯訓練	3回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年1回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年1回	職員参加
防火装置の検査	年2回	消防署へ連絡
その他	年1回	119番通報訓練 職員

5) 保健衛生(KT)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)蟻虫卵検査、尿検査の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法、又理事長研修をはじめクラスリーダー研修、子育て支援、事務、献立会議など童心会各園の担当職員研修を実施。

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認

6) 各種行事の実施状況(KT)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。また、姉妹園である柏中央保育園や柏さかさい保育園や牛久みらい保育園、ECEC マラソン交流会を通して行う行事は、良い刺激となり、更に意欲が湧く会となった。又年長児は柏市立旭小学校1年生との交流や就学に向け学校探検にも参加することが出来就学に期待を持つ良いきっかけづくりとなった。

月	行 事
4	入園式、進級式、お花見、子どもの日の集い
5	春まつり、子どもの日の集い、尿検査(4, 5歳児)、バス遠足(2, 3, 4, 5歳児)、内科検診、歯磨き指導(4, 5歳児)
6	個人面談、スポーツテスト、歯科検診、視力検査(5歳児)10キロウォーク、お泊り保育(5歳児)、手洗い指導(3, 4, 5歳児)、消化訓練
7	プール開き、園外保育活動(市営プール)、七夕の集い、夏まつり
8	お泊り保育(4歳児・3歳児)
9	引き渡し訓練、敬老の集い、ボランティア活動、プール納め
10	親子運動会、社会見学(メグミルク4歳児)、社会見学(かすみ5歳児)、ボランティア活動、秋の鑑賞会
11	バス遠足(2・3・4・5歳児)、交通安全教室、ボランティア活動
12	クリスマス生活発表会、おもちつき大会、大掃除
1	マラソン記録会、年長児学校訪問、内科検診 ボランティア活動 冬まつり
2	節分・豆まきの会、5園合同マラソン交流会、思い出バス遠足、視力検査4歳児、卒園遠足
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さんお姉さんありがとうの会、卒園式、引継ぎ式、入園保護者面談、

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・体操指導・音楽リトミック・食育活動
(大根ほり・さつまいも掘りなども行っている)、4, 5歳児幼児体操
5歳児わくわくアート・5歳児わくわくタイム、表彰式

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観
(保護者:園の食事、園生活や色々な関わり、自分の為の誕生日を皆
で心からお祝いし特別感とおもてなしで接している)

7) 職員の充足状況(KT)

① 定員(90名) 弾力運営 108名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	13名	19名	19名	19名	19名	19名

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

- 園児 : 職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	19名	3名	24名

③ 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	21名	1名	3名
区分	看護師	みなし	事務 (子育て支援員兼務)	全職員34名	
配置	1名	6名	1名		

※ みなし=子育て支援員

※ 保育士数のうち派遣保育士3名を雇用

6. 柏 ECEC 保育園

1) 事業内容(EC)

柏 ECEC 保育園は、平成 31 年 4 月 1 日より開園し 1 年が過ぎました。柏駅東口の駅近くということもあり園見学に来られる保護者も多く来園された。

事業は 2 事業を柱に運営している。

- ① 保育所の運営、
- ② 一時預かり事業を展開し、他保育事業として延長保育促進事業も実施する。

◇保育目標(保育活動、外環境利用等)

- ・「思いやりと生きる力」を保育方針にそってよく見つけ、抱きしめ、耳を傾けて聴き、沢山話しながら日々子ども達と向き合い、「思いやりと生きる力」を基本に興味・関心・好奇心・意欲・意志を育てている。
- ・ 4、5歳児は開園年ということもあり少人数の為、柏中央保育園との交流を通して同年齢の集団の中で生活することも経験できる環境を作った。
- ・ 2週に1回、外部委託の専門員による運動遊び体操指導活動を行う。
- ・ 柏中央保育園の専門的先生による、音楽リズム遊び(リトミック)を取り入れ、音楽リズム遊びを通して、五感を刺激し情緒の安定を図る。又年齢にあった楽器に触れ、音楽指導を行う。
体操指導も同様であるが、人間形成に欠かせない集中力、自立心、競争心、好奇心、協調性、感受性、即時反応力などと言った要素をバランス良く心と身体、そして脳の発達、自己表現を豊かにする。
- ・野菜を育てる経験をする事で、食への興味や美味しくいただくことの大切さを知る。又柏さかさい保育園近隣の日暮さんの畑で行う大根ほり体験は、保護者にも好評で、土に触れたり、畑で育つ野菜に触れ収穫する体験は EC 近隣では出来ない体験なので今後も参加をさせて頂く。
- ・ 地域の公園を利用することは、地域の方を知る事、又道路を歩くルールを日々の積み重ねの中で、危険性を知り身についていく事や歩く体力も意識して行う。

◇地域貢献

- ・『夏まつり』は、KC と合同での開催。地域へ発信し地域参加を呼びかけ地域交流も深める。

- ・ 園見学を通して、地域の方の子育てに関する相談を受けることで地域の方との繋がりや、保育園の役割を広げていった。
- ・ 園外保育活動時に、地域の方と挨拶や会話を交わしたり、ハロウィンでは、近隣のお店にもご協力を頂きパレードを楽しんだ。
- ・ 小学校接続を目的とした、幼保小連携及び小学校との交流(子ども、職員)を積極的に実施していく。

◇保護者との共同

- ・ ECファミリー会設立、協力体制を強化し「生みの親・育ての親」を改めて意識し協同出来る様、声を掛け、ねぎらいの心をもって、子どもたちを共に育て合う仲間づくりとしていく。

2) 児童の在籍状況(EC)

区分	月初日在籍児童数				
	乳児	1歳～2歳児	3歳児	4歳以上児	計
4月	7	30	12	4	53
5月	9	32	13	6	60
6月	9	32	12	7	60
7月	9	32	13	7	61
8月	9	30	14	7	60
9月	9	30	14	8	61
10月	9	31	15	8	63
11月	9	31	17	8	65
12月	9	30	17	8	64
1月	9	30	17	9	65
2月	9	30	17	9	65
3月	9	30	16	9	64
計	106	368	177	91	741

3) 保育園の保守管理(EC)

当園は、日々の定期的な清掃及び修繕・安全点検を実施している。

また、保育室の遊具・器具(椅子やテーブル等)等の破損は事故防止のため迅速且つ周期的に点検し必要であれば修繕する体制である。

保育室は、病気・感染症等が誘発させないよう室内の消毒はもちろんのこと

空気清浄機を設置すると共に清潔を維持している。

4) 消防・地震計画(EC)

園内における防火管理の徹底と災害による人的、物理被害を最小限に防ぐため地震・火災・防犯の避難訓練を実施している。9月の防災週間には保護者の方とも年1回の確認ができるように引き渡し訓練を実施している。

訓練事項	訓練時期	備考
非常災害訓練	月1回	地震・火災・午睡・夜間 抜き打ち訓練
防犯訓練	年2回	抜き打ち
引渡し訓練(地震)	年1回	非常時に備えた訓練
消火訓練	年1回	職員参加
防火装置の検査	年2回	消防署へ連絡
その他	年1回	119番通報訓練 職員

5) 保健衛生(EC)

病気、怪我、感染症等にかからないように予防処置と室内清掃に関して職員一同意識向上させている。

園児： 嘱託内科医による内科健診(年2回)。嘱託歯科医による歯科検診(年1回)身体測定(月1回)尿検査(4、5歳児)の実施。視力検査の実施。歯磨きや手洗いなどの衛生指導。急な発熱等の体調不良児の対応。ケガした場合の病院受診。

職員： 健康診断(年1回)。腸内細菌検査(毎月)。感染症対策、インフルエンザ対策、救急処置方法、玩具消毒(毎日)

保護者： ほけんだよりの発行(月1回)。各予防接種の確認。感染症流行時には、ママ連メールやエントランスでの情報発信をし、保護者の方にも感染症への意識を高めてもらい園児の健康な身体作りを共に行っていった。

6) 各種行事の実施状況(EC)

行事は下記の表のように童心会の特徴である春夏秋冬のまつりを始め園児・保護者・地域を対象に毎月開催されている。また、姉妹園である柏中央保育園や柏さかさい保育園や柏しんとみ保育園、牛久みらい保育園との大きな交流会は、良い刺激となり、より意欲が湧く会となった。

又年長児は柏市立柏第一小学校1年生との交流や就学に向け学校探検にも参加することが出来就学に期待を持つ良いきっかけづくりとなった。

月	行 事
4	入園式、進級式、お花見
5	春まつり、子どもの日の集い尿検査(4, 5歳児)、遠足、内科検診、5歳児10キロウォーク
6	お泊り保育(5歳児)個人面談、運動能力測定、歯科検診 視力検査(4, 5歳児)
7	プール開き、七夕の集い、お泊り保育(4歳児)、夏まつり
8	お泊り保育(3歳児)
9	親子運動会、引き渡し訓練、 おじいちゃん・おばあちゃんふれ愛パーティー
10	親子運動会、秋まつり、ハロウィン
11	第1回マラソン記録会
12	クリスマス生活発表会、もちつき、大掃除
1	第2回マラソン記録会、内科検診、5園合同マラソン交流会(4歳児)
2	節分・豆まきの会、5園合同マラソン交流会(5歳児)、冬まつり
3	ひなまつりの集い、入園説明会、お兄さん・お姉さんありがとうの会、 卒園遠足・卒園式

※ 毎月行事:誕生会・避難訓練・身体測定・体操指導・音楽リミック・食育活動

※ 誕生会:お子様の誕生月に保護者の方をご招待、お食事と保育参観

7) 職員の充足状況(KT)

② 定員(70名) 弾力運営 79名

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員	9	15	17	18	10	10

② 職員の配置基準とその配置

◇ 職員配置基準

区分	0歳児	1・2歳児	3歳児	4・5歳児
配置対比	3:1	6:1	20:1	30:1

- 園児：職員

◇ 国の示す職員配置基準(定員数による配置基準)

区分	園長	保育士	調理員	合計
配置数	1名	12名	2名	15名

③ 現員(平成30年3月1日現在)

区分	園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員
配置	1名	1名	12名	1名	1名
区分	サポーター	看護師	事務	全職員 19名	
配置	1名	2名	(1名)		

- ※ 保育士数のうち派遣保育士1名を雇用
- ※ 調理員数のうち派遣調理師1名を雇用
- ※ 栄養士は調理員と兼務
- ※ 事務員は保育兼務

7. わくわくアートタイム(全園展開事業)

1) 活動目標

保育園での最終学年となるさくらぐみの活動の中で、絵画やかきかたを通して、表現力・想像力・思考力を伸ばしていけるようにするとともに、就学に向けて学習の基礎づくりができるようにする。

- 絵画 : 様々な用紙や画材を使用したり五感を使う活動を通して、表現の楽しさを経験し、新たな気づきや発想を広げていけるようにする。
- かきかた : 鉛筆で書くことに慣れ文字を書くことを楽しみ、書く意欲を高めていけるようにする。

2) 内容

月に2～3回、主に午睡をしなくなった午後の時間を活用して、1回1時間程度の活動をする。

- 絵画 : 観察画・想像画・デザイン画
- かきかた : 線の練習・ひらがなの練習・習字(後半3回程度)ほか

	絵画	かきかた
4月	春の花の観察画・おともだちの顔(コンテ画)	名前、線の練習
5月	大根の観察画、傘の模様づくり	ひらがな①、○△の写し描き
6月	100かいだての家、砂絵	ひらがな②、○△の写し描き
7月	パイナップルの観察画、海の中(透明シート使用)	ひらがな③、点つなぎ
8月	育てた野菜や花の観察画	ひらがな④、点つなぎ
9月	体の動きを描いてみよう	ひらがな⑤、絵合わせ間違い探し
10月	マンダラぬり絵(色鉛筆)	ひらがな⑥、絵合わせ間違い探し
11月	長い紙に描いてみよう	習字、ひらがな⑦、点つなぎ
12月	物語の絵「かさじぞう」(墨と筆)	ひらがな⑧、絵合わせ間違い探し
1月	○○○から想像して描いてみよう	書き初め、ひらがな⑨、絵合わせ
2月	おともだちの顔(コンテ画)	文集表紙の筆文字
3月	1年を振り返って絵と文字で書いてみよう	

3) 活動を振り返って

- 初めての活動であり子ども達の反応を見て試行錯誤しながら活動内容を決めていったが、しだいに子ども達も職員も受け入れてくれるようになり、基本の活動内容をつかむことができた。
- 様々な画材を使用し、題材に変化を持たせたことで、興味を持って取り組む子が多かった。今まで絵を描くことに苦手意識を持っていた子が、描くことを楽しむようになってきた。
- 運動が苦手な子が活躍できる場として、今まで消極的で目立たなかった子が注目を浴びる経験を通して自信をもち、積極的になるケースがみられた。
- 保護者の何人かからは直接、この活動を通して文字への興味が湧いて、ひらがなが書けるようになった。子どもがわくわくアートの時間を楽しみにしていたとお礼の言葉をいただいた。就学前の活動として、安心していただけただけなのではないかと思う。
- 「担任とは違う先生との活動」は、子ども達にとっては緊張感もあり、五感の刺激にもつながっているように感じる。
- 今年度は初めての取り組みで、担任は何をしているのか分りにくかったと思う。次年度は初めに打ち合わせを行って、連携をより取りながら進めていきたい。

8. わくわくタイム(全園展開事業)

1) わくわくタイムの概要

午睡をしなくなった午後の時間を利用し、5歳児を対象に行動範囲を広げ大きな公園や公共施設へ園バスを利用し園外活動を行うものである。

2) ねらい・目的

- ・ 公園での活動は、公園への挨拶に始まり挨拶に終わる。
自然豊かな場所で季節を感じる場所で草木や花、木の実などの自然と戯れ、五感を刺激する活動にする。
複合遊具での主体的な遊びを通して集中力を養う。手足の指先まで集中することで体を理解し、全身を使った動きを楽しむことができる。
園児の頑張りを応援することで、踏ん張りや“がんばること・つづけること・がまんすること”の楽しさを園児自身で見つけることを目的とする。
- ・ 自宅に帰ってから家族とわくわくタイムの話題が出るよう、記憶に残る楽しい活動及び家族支援となる活動を考えていく。
- ・ 図書館や体育館などの館内施設では、施設のルールを学び社会性を身につけることができる。公園同様、施設を利用させて頂くことの感謝の気持ちを込めて入出時にご挨拶をすることが出来る。

3) 活動について

各園/月2回

バスで片道30分圏内までを活動場所とし、約1時間前後活動行事が多い月などの場合は日時の変更や、活動を減らすなど対応

4) 活動内容

複合遊具遊び/自転車乗り/森の中の急斜面登り/アスレチック/サッカー/小川で水遊び/お花観賞/巨大トランポリンなど園児達が興味をもって楽しく活動できるよう工夫した。

5) 活動場所

『あけぼの山農業公園/柏ふるさと公園/北柏ふるさと公園/中原ふれあい防災公園/柏リフレッシュ公園/やまびこ公園/流山市総合運動公園/野々下水辺公園/増尾城址公園/柏の葉公園/ふわふわドーム/洞峰公園/霞ヶ浦総合公園/乙戸沼公園』をメインにした活動場所である

6) 雨天での活動場所

市立図書館・柏中央体育館や館内施設

7) 活動を振り返って

各園、環境が違うが、園児達は遊びの中で喜びや楽しさを共有する姿がいつも見られた。 柏 ECEC 保育園の自転車乗りのケースである。

途中転園してきた性格の明るい海外出身の園児がいた。この園児は運動が不得意であり経験数も少なく自転車に乗れなかった。しかし諦めることなく仲間たちの応援が意欲に繋がった点もあり“がんばること・つづけること・がまんすること”を体現し、みんなの応援や担任の応援のもと自転車に乗ることが出来た。

他の園児もそうだが、難しい遊びに何度も挑戦と成功を繰り返し、成功を重ねることで幾分自信をつけることができた。

自然の中で五感を刺激する楽しい活動は情緒の安定にも繋がる。子どもたちの主体性を応援することで自己肯定感を高めることにもなった。

安全第一であるが、ルールを決めすぎない面白さも自立を促すためには大切に思える。自分達で選択をし、園児達が作り上げていく遊びになるよう工夫し、今後とも園児達の成長になるよう繋げいく。

< 以上 >